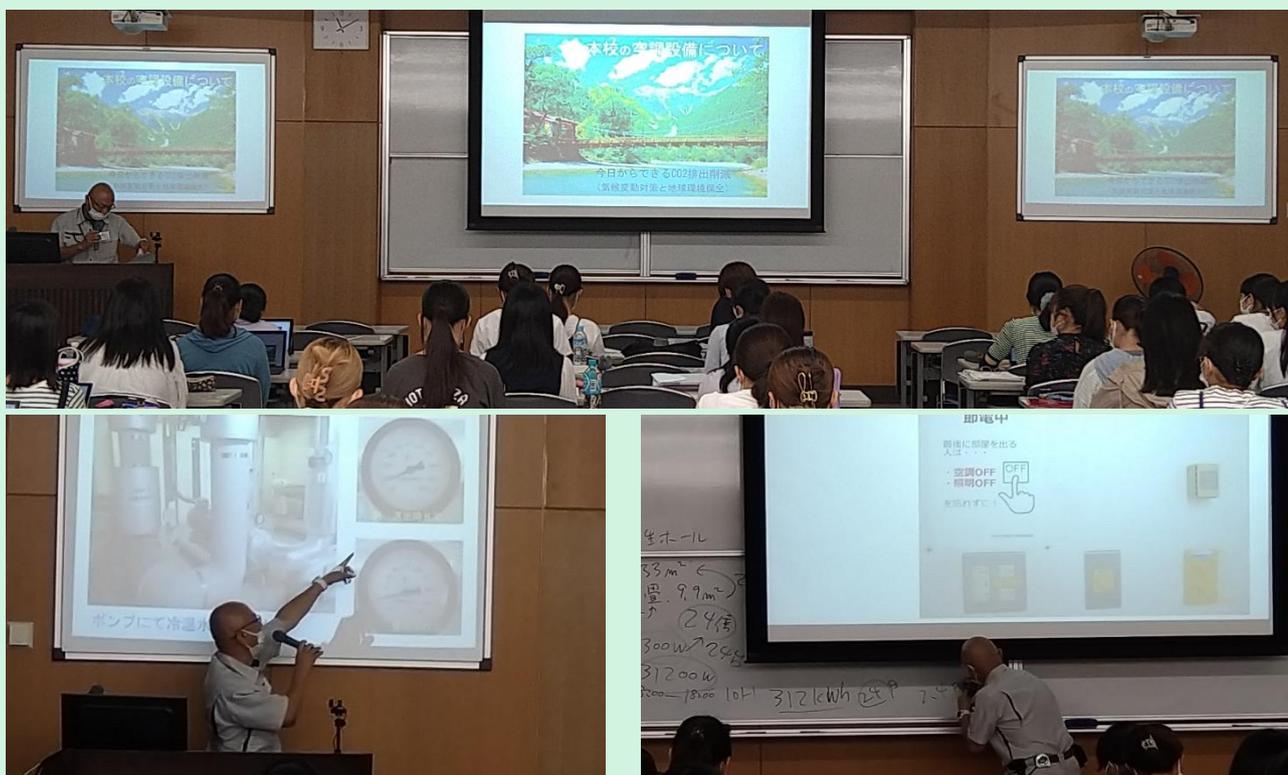


令和4年度の活動について

環境推進ワーキンググループでは、学内の環境改善など環境保全活動や環境にかかわる意識の醸成に取り組んでいます。

今年度は、本学1年生のみなさんと一緒に「SDGs」の7つ目の目標である「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に関して学びを深めました。アンケートにご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。今回のGreen 通信では、その様子とそのアンケート結果について報告します。

会場の様子



本学のメンテナンスを担当してくださっている、扇 隆一さんに、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」をテーマに、冷暖房の主役といえるエアコンの仕組みや、家庭とは違う本学の空調システムについてご紹介頂きました。エアコンは大きなスペースの空調が苦手だということでした。本学の教室や学生ホールと家庭のスペースでは、どのくらい消費電力が違うかなど、分かり易い例をもとに、学生の皆さんでも日頃から取り組める簡単な対策についても、提案していただきました。



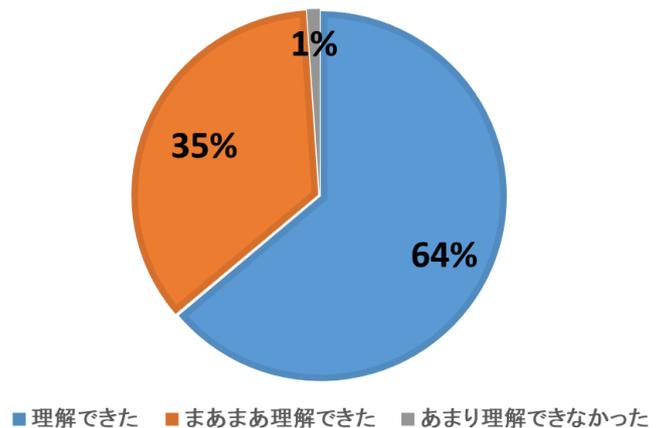
アンケート結果

アンケートは、94 名のみなさんに回答頂きました。

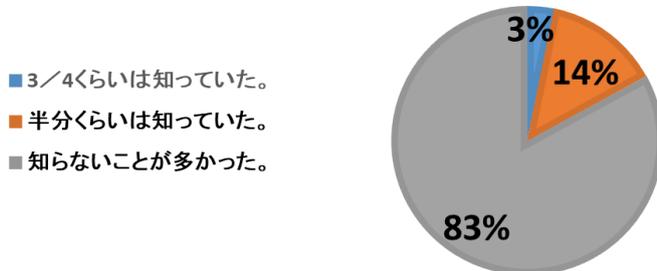
過半数の方が「理解できた」と回答されており、本学の空調やその消費電力について知っていただけようです！



「この大学の空調設備」は理解できましたか？



「この大学の空調設備」について



大学の空調について知らないことが多かった方が83%と多かったです。この機会に得た知識を、是非日常生活に活かして行ってください！



『「この大学の空調設備」の内容から今後の生活を見直そうと思いますか？』では、すべての方が「はい」と回答されていました。

『どのような点を見直そうと思いますか？具体的にどんなことができそうですか？』にもたくさん回答がありました。その中から一部抜粋して紹介します。

- ・教室を出ていく時にきちんと電気やエアコンを消すことを心がけようと思いました。
- ・誰もいない部屋は電気や空調を消したりする。
- ・最後まで教室に残ることがあるときには、責任を持って電源を落としていこうと思いました。
- ・普段何気なく使っている物の消費電力が思っていたよりも多く、時々エアコンやテレビを付けっぱなしで寝てしまうこともあるので気をつけたいと思った。

大学内だけでなく、自宅でもできる見直しポイント、是非忘れずに取り組んで行ってください！

『今回分かったことや思ったことなど、感想や意見などがあれば記入して下さい。』では、さまざまな感想がありました。その中から一部抜粋して紹介します。

- ・初めて大学の空調などを知り、もっとエアコンの使い方を見直すべきであると強く思った。そのため、できることから少しでも実行していきたいと思った。
- ・少しの積み重ねが地球の環境を守ることがわかった。
- ・空調は複雑なシステムだけど、今は私たちの生活に欠かせないものだから、持続可能な使い方をしたいと思った。スライドに写真とかたくさん貼ってあって見やすかったです。

今後とも環境推進活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

